

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・弁当総菜の売上が伸びている。また、デザート類が一緒に買われている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比20%増と2か月連続で増加、前年同月比でも2%増と、来場組数が増加している。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率は、3か月前と同様に前年同月実績に対し下回る状況である。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・取扱高は例年並みの横ばい傾向であるが、伸びる要素が余りない。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・戸建て住宅、投資用住宅など契約受注が順調である。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・前月に引き続き消費税増税の影響による衣料品、高額品の苦戦と中国人観光客の免税売上ダウンが影響している。そのなかで食料品は前年をクリアできている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・目抜き通り周辺は、高校生の修学旅行生が多く、一般の客が少ない時期である。お菓子の様な小さな物などを売っている店は景気が良く、大人向けの店は悪いのではないかと。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・11月も1年の中でかなり落ちる月ではあるが、地元客が例年の12%ほど落ちている。特に大きな変化は稼ぎ時の金曜日の入客も17%ほど落ちてきていることである。街頭に出ている人が極端に少なくなっていることと、入店客も団体客が減って1人や少人数のグループになってきていることで、1席当たりの効率が悪い。
		通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・消費税増税前に駆け込み需要があり売れたが、増税後はその反動の影響もあり売れてない。
		x	商店街（代表者）	競争相手の様子
	x	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・先々の宿泊予約状況が悪い。韓国からの観光客の減少により影響を受けている。今後もどうなるのか判断を許さない。
	x	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・10月の消費税増税と法改正による値引き販売の制限により、販売が前年の75%と大幅に落ち込んでいる。客数も同様に減ってきている。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		-	-	-
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向け出荷は前年比減で、民間工事向けは前年比やや増と、全体で横ばいの状況である。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築の契約が、消費税増税前の駆け込みの反動で止まったままである。
		輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・複数業界を鑑みた内容となる。例えば某リサイクル業者など中国の輸入規制に関連し売値が前月比10%となり苦戦しているところもあれば、キャッシュレス還元等の施策により売上を保っている、又は伸びているなどあり、全体的にみると横ばいになっているのではないかと考えられる。
	x	会計事務所（所長）	それ以外	・マンションの売行き状況、住宅、アパートローン融資が厳しくなっている。
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・2020年卒の求人がまだ続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数において、大幅な増加ではないものの、毎月、順調に増加が続いている。

	求人情報誌製作 会社（編集室）	求人数の動き	・求人数は3か月前と比較すると週平均で20件程度微増しているが、ホテルや観光関連の求人が減っているようにみられる。やはり、韓国からの観光客数が大幅に減少したことも要因ではないかと考えられる。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・前年に比べ2次募集、3次募集等の追加募集が減っている。来年度の採用活動の流れが変化しそうな気配がある。
x	-	-	-